

「学力・学習状況調査」の結果と今後の取り組みについて（お知らせ）

9月に実施した6年生の「学力・学習状況調査」の結果が届きました。

【国語A：主として知識】【国語B：主として活用】【算数A：主として知識】【算数B：主として活用】の2教科4分類で実施されました。

今年度は、東日本大震災の影響を受け、実施希望の自治体のみが問題を文科省から提供を受けて行われました。福岡県も県の予算で行われましたので、本校の6年生の学力実態についてお知らせいたします。

☆ 福岡市の平均と本校6年生の平均を比べますと、国語A・算数A…主として知識・理解において、「やや努力を要する」、B問題…主として活用では、国語B・算数B共に市の平均と「同程度である」という結果でした。

【国語A】では、

◇ 「相手や目的に応じて、自分の考えが明確に伝わるように内容を選んで話す」問題や「国語辞典を利用して語句を調べる方法において、“四つの言葉の中から国語辞典に最初に出てくる言葉を選択する”」問題は、福岡市の平均正答率を上回っていました。

◆ **漢字を書く**（カラスの数がひじょうに多い。）問題や「新聞記事の構成を説明したものと**適切なものを選択する**」（主語を置き換えて記事の下書きを書き直す）問題においては、特に努力を要するという結果でした。

【国語B】では、全体的に福岡市の平均と同程度ではあるものの、次のような問題に特に努力を要するようです。

◆ 「提案に対する相手の意見を取り入れて、**自分の考えについての理由を書く**」問題や「二つの伝記を比べて読み、登場人物の心情を表している**言葉や文を抜き出して書く**」問題において、特に努力を要する。

【算数A】では、

◇ 「減法と乗法の今後した**整数の計算**」「帯分数と真分数の**減法の計算**をする」、「直方体の面の形や大きさについての理解」、「直方体の体積の求め方についての理解」、「棒グラフから、数量が最も大きい項目を読み取ること」等については、福岡市の平均を上回っています。

◆ 「整数と小数の**除法の計算**」、「異分母の分数の**加法の計算**」、「平行四辺形の**面積の求め方**」、「2つの合同な四角形について、では、全体的に福岡市の平均と同程度ではあるものの、次のような問題に特に努力を要するようです。**対応する角を判断**する」、「百分率の意味についての理解」において、特に努力を要するようです。

【算数B】では、全体的に福岡市の平均と同程度ではあるものの、次のような問題に特に努力を要するようです。

◇ 「図形を確かめるためには、その図形の定義に当たる条件を確かめればよいこと**の理解**」については、福岡市の平均を上回っています。

◆ 「条件に対応して表を読み、示されたきまりを基に送料を判断してその**考えを記述**する」、「少数倍の意味に基づいて、**目盛りの数を基**に何倍かを求める」「示された状況が包含除の場面であることを理解し、計算によって得られる数などの**意味の解釈**」、「目的に応じて**表から情報を読み取る**」、「基準量と割合の両方に着目して、比較量の大小判断の理由として、ふさわしい**記述を判断**する」問題において、特に努力を要するようです。

以上のことから、「漢字を書く」ことや「計算」等のように、「日々の練習の積み重ね」を要するもの、「意味の解釈」「判断（情報の読み取りや記述）」等に課題があるようです。

そこで、学校におきましても、今後のさらなる学力向上に向けた取り組みを次のように考えています。また、学力向上に向けては、学校の取り組みが前提ではありますが、ご家庭での協力が、その効果をさらに大きくすることは言うまでもありません。御協力よろしくお願いたします。

【今後の学力の向上に当たって】

《学校では》

「漢字を書く」ことや「計算力」を高めるために、学習時間における「書く」「計算練習」の時間を確保したり、朝の「板付タイム」での意欲付けを引き続き取り組んだり、日常的に「書く」活動を重視していきたいと考えています。また、下記に例を示していますように、学年での重点課題を設定しながら、学校全体の系統的な取り組みへとつなげて行きたいと考えています。

- (1) 体験から感じ取ったことを表現する活動
 - ・ 日常生活や体験的な学習活動の中で感じ取ったことを言葉や歌、絵、身体などを用いて表現する
- (2) 事実を正確に理解し伝達する
 - ・ 身近な動植物の観察や地域の公共施設等の見学の結果を記述・報告する
- (3) 概念・法則・意図などを解釈し、説明したり活用したりする
 - ・ 需要、供給などの概念で価格の変動をとらえて生産活動や消費活動に生かす
 - ・ 衣食住や健康・安全に関する知識を活用して自分の生活を管理する
- (4) 情報を分析・評価し、論述する
 - ・ 学習や生活上の課題について、事柄を比較する、分類する、関連付けるなど考えるための技法を活用し、課題を整理する
 - ・ 文章や資料を読んだ上で、自分の知識や経験に照らし合わせて、自分なりの考えをまとめてA4・1枚（1000字程度）といった所与の条件の中で表現する
 - ・ 自然事象や社会的事象に関する様々な情報や意見をグラフや図表などから読み取ったり、これらを用いて分かりやすく表現したりする
 - ・ 自国や他国の歴史・文化・社会などについて調べ、分析したことを論述する
- (5) 課題について、構想を立て実践し、評価・改善する
 - ・ 理科の調査研究において、仮説を立てて、観察・実験を行い、その結果を整理し、考察し、まとめ、表現したり改善したりする
 - ・ 芸術表現やものづくり等において、構想を練り、創作活動を行い、その結果を評価し、工夫・改善する
- (6) 互いの考えを伝え合い、自らの考えや集団の考えを発展させる
 - ・ 予想や仮説の検証方法を考察する場面で、予想や仮説と検証方法を討論しながら考えを深め合う
 - ・ 将来の予測に関する問題などにおいて、問答やディベートの形式を用いて議論を深め、より高次の解決策に至る経験をさせる

《ご家庭にお願いしたいことは》

この調査では、国語・算数の学力調査に加え、児童への質問ということで学習や生活に対する意識調査も行われています。この中で、家庭学習に関する質問に対し、「全くしない」という子や、「読書の時間」や「学校図書館・室や地域の図書館へ本を借りに行くか」という質問に対し、「全く読まない」「全く借りない」の割合が、県の平均に対し、低くなっているのが顕著です。

そのことと、「漢字を書く」ことや「計算」等のように、「日々の練習の積み重ね」を要するものが「努力を要する」ということに影響を与えていると考えられます。

そこで、

- ※ 新聞・読書に親しませ、読んで思ったことや考えたことをご家庭で話題にする機会を増やすことも効果的だと思われまます。
- ※ メモを活用したり日記をつけたりして、自分の考えをまとめることによって、考える力・書く力を高めることができます。
- ※ 日常的に、学習した漢字を使うことを意識するよう、ご家庭でも励ましていただきたいと思います。
- ※ 生活の中で、送料の求め方や表から情報を読み取ること、チラシの中の「〇割引き」、ドライブにおける、速度や時間の関係等、日常生活と算数等を結びつけることで関心を高めたり、必要性を感じたり、算数的な力を高めることができます。